

ESG説明会

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters "AGC" in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the "A" and the "G".

AGC株式会社

2021年9月10日

Your Dreams, Our Challenge

1. 事業の多角化・グローバル化の歩み	P.3
2. グローバル一体経営に向けたガバナンス改革	P.7
3. サステナビリティ経営とカーボン・ネットゼロに向けた取組み	P.23
4. 最後に	P. 42
5. Appendix	P. 45

1. 事業の多角化・グローバル化の歩み

1907年、岩崎俊彌が旭硝子創業



創業者
岩崎 俊彌

創業の精神
“易きになじまず難きにつく”

『人がやっていない事業は他にいくらでもあるが、やる以上は国のためになること、この国に暮らす人のためになることをやり遂げたい。それが私にとっての板ガラスの製造だ。』

■ 時代の変化に合わせて、必要な素材・ソリューションを提供



建設ラッシュ



モータリゼーション



テレビ時代の到来



環境配慮型事業・
商品の拡大



ITの進化



IoT時代の
本格到来



5G通信
開始

1907
年

1910
年代

1950
年代

1970
年代

1990
年代

2000
年代

2010
年代

2020
年代



耐火煉瓦
製造開始

ソーダ灰
製造開始



自動車用ガラス事業開始



旭硝子創業
板ガラス事業開始



ブラウン管用
ガラスバルブ事業開始



イオン交換膜
開発に成功



LCD用無アルカリ
ガラス事業開始



代替フロンAK-225
生産開始



デジカメ向け
色調補正用フィルター
事業開始



スマホ用化学強化
ガラス事業開始



EUVマスクブランク
事業開始



医農薬中間体
受託生産事業開始



窓を基地局化する
ガラスアンテナを開発

■ 現地パートナーや従業員とともに、各国経済・社会の発展に貢献



1950
年代

1960～
70年代

1980
年代

1990
年代

2000
年代



インドで
建築用ガラス
事業を開始



タイ・インドネシアで
建築/自動車用ガラス/
化学品事業を開始



欧米で
建築/自動車用ガラス事業
を本格展開



欧米で
フッ素化学品事業を
本格展開



台湾・韓国で
TFT/PDP用
ガラス事業を開始



ブラジルで
建築/自動車用
ガラス事業を開始

2. グローバル一体経営に向けたガバナンス改革

～1990年代

- 事業の多角化
- グローバル展開
- 連結経営開始
- バブル後の収益悪化

経営戦略 : “*Shrink to Grow*”

1998年
～
2004年

グローバル一体経営に向け、
本格的なガバナンス体制を構築

■ グローバル一体経営に向け、コーポレートガバナンスをはじめとする経営基盤を再構築

1 **グループビジョン制定**

2 **取締役会の改革**

3 **執行役員制の導入**

4 **カンパニー制の導入**

5 **人事基盤構築**

6 **経営人財育成プログラム構築**

7 **働き方改革**

- AGCグループ内で共有すべきビジョンを2002年に制定*
- “*Look Beyond*”こそが私たちのサステナビリティ経営の基盤



- 経営監視機能と経営執行機能を明確に分離
- 取締役会を改革し、執行役員制を導入

経営監視
機能

①取締役会の改革

取締役会の位置付けを、「AGCグループの基本方針承認と経営執行の監視機関」に変更

- ✓ 従来の20名から7名に
- ✓ 社外取締役を選任（2名）＊ 2005年から3名体制に変更
- ✓ 任期を2年から1年に短縮
- ✓ 経営執行に対する権限を社長執行役員に大幅に委譲

経営執行
機能

②執行役員制の導入

「AGCグループの経営及び事業の執行」を担う執行役員を選任した。

- ✓ 商法（会社法）規定の取締役と明確に区別
- ✓ 任期は1年

コーポレートガバナンス体制

■ 2002年より監査役会設置会社に

■ 任意の諮問機関として「指名委員会」「報酬委員会」を設置、過半は社外取締役により構成

社内監査役



常勤監査役
竜野 哲夫

独立社外監査役



常勤監査役
森本 芳之



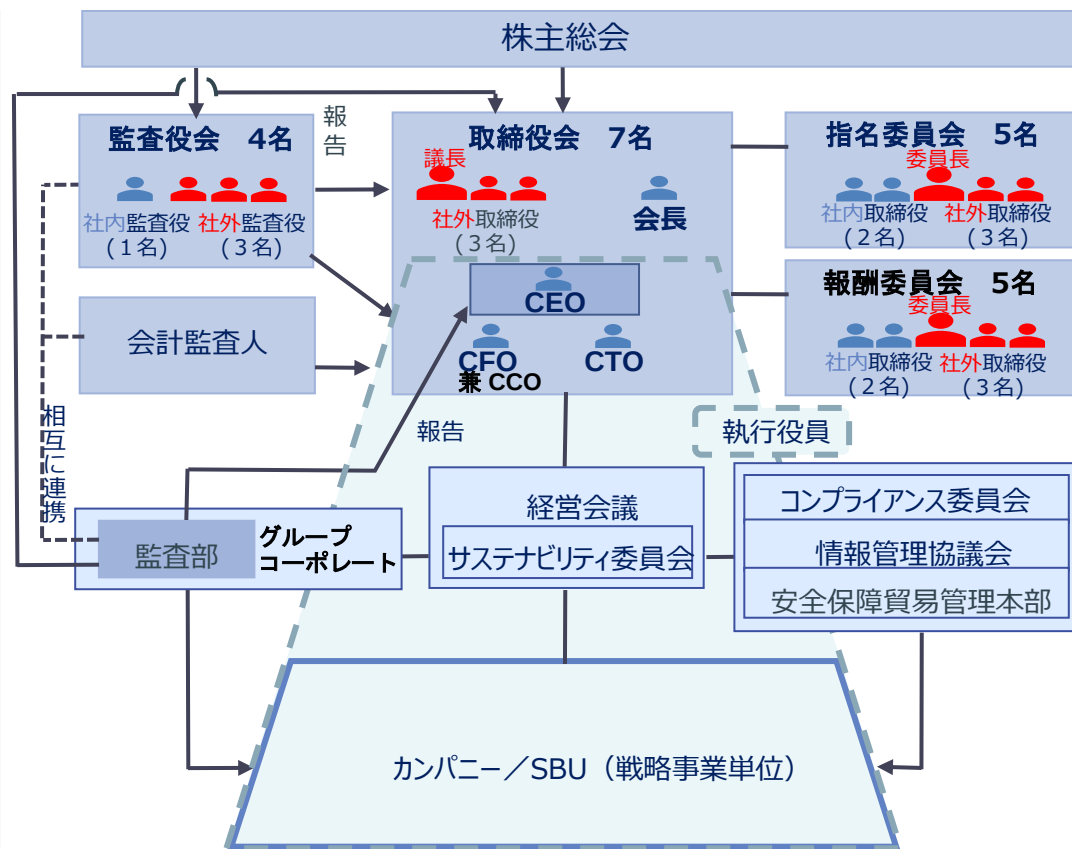
非常勤監査役
作宮 明夫



非常勤監査役
竹岡 八重子

経営監視機能

経営執行機能



: 社内出身の取締役又は監査役
 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役

< 2021/3/30からの体制 >

社内取締役



会長
島村 琢哉



CEO
平井 良典



CFO
宮地 伸二



CTO
倉田 英之

独立社外取締役



取締役会議長
長谷川 閑史



指名委員会委員長
柳 弘之



報酬委員会委員長
本田 桂子

コーポレート機能

事業執行機能

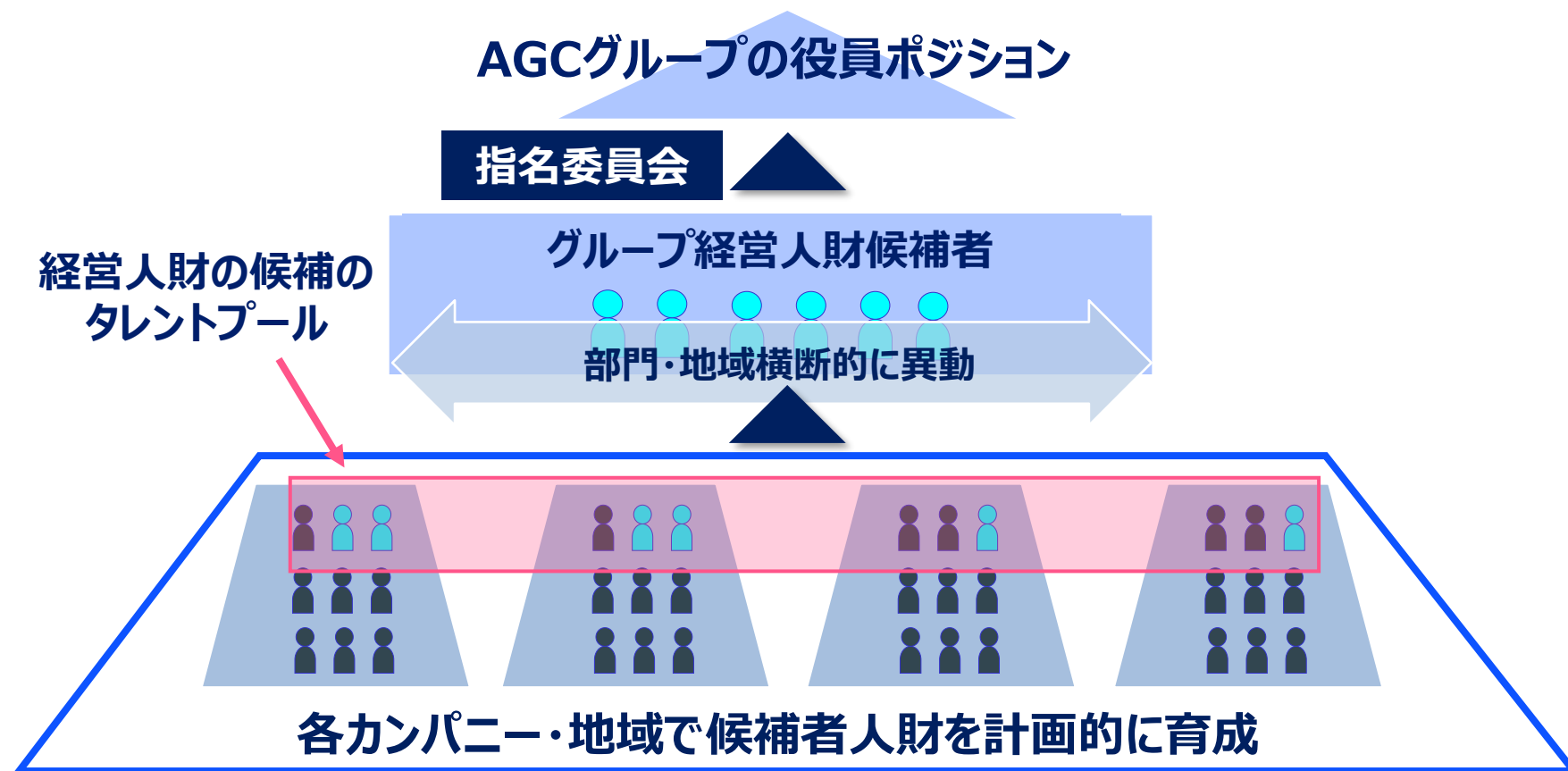
■ グローバル一体経営およびダイバーシティ実現に向けた人事諸制度を整備

2020年



グローバル経営人財育成プログラム

- グローバルリーダー候補を、国籍や部門を問わず世界中から発掘
- 見出した人財を、グループ全体最適の観点で育成し、戦略的に配置



■ 多様な人財が働きやすい環境実現を目指した制度を運用

“Look Beyond”の私たちの価値観：多様性 (Diversity)

- 多様な能力、個性を持った個々人を尊重し、国籍、性別、経歴にこだわらないグローバル経営を展開します
- 人種、民族、宗教、言語、国籍にこだわらず、多様な文化を尊重します
- 常に異なった視点・意見を尊重します

“働き方改革”全員行動宣言 (2017年)

人財のAGC

一人ひとりが、持てる能力を最大限に発揮し、
個々人の総和が強い組織を創り出し、
事業戦略や組織目標が実現され、
会社と個々人の成長を生み出している

ダイバーシティの取組み例（女性活躍推進）*

出産・育児中の社員が 安心できる取組み

- 短時間勤務および休職制度
- 託児所利用支援制度
- 育児中社員同士のコミュニケーション**
- 出産・育児等に関するセミナー**
- 育休復職者向け面談**
- 育児休職復帰支援プログラム充実

意欲ある女性が 活躍できる取組み

- 育休復職者向け研修**
- 女性メンター制度**
- 既存研修・外部研修への女性参加推進**
- 育児勤務者支援制度の拡充**



多様な人財が 活躍できる取組み

- コアタイムのないフレックス勤務制度
- 在宅勤務制度（理由を問わない）
- 時間単位の年次有給休暇制度
- 配偶者転勤時休職制度
- 女性の健康セミナー
- 女性活躍事務局

■ 従業員エンゲージメント向上を目指した施策をグローバルに展開

2005年～

- エンゲージメント調査
(従業員意識調査)開始

2006年～

- CEO表彰



2015年～

- 経営層と
従業員の対話会



2006年～

- グループ報発刊



2011年～

- 部門横断的ネットワーク活動(CNA)



エンゲージメント向上施策 “CEO表彰”

- 2006年に「認知と賞賛」の風土醸成を目的として、グループ全従業員対象の表彰制度を制定
- 2006年～2020年で1,687件がノミネート

各地域での表彰式典



<日本・アジア>



<欧州>



<米州>

表彰事例



<データサイエンティスト育成プログラム確立>



<Coating on demand>

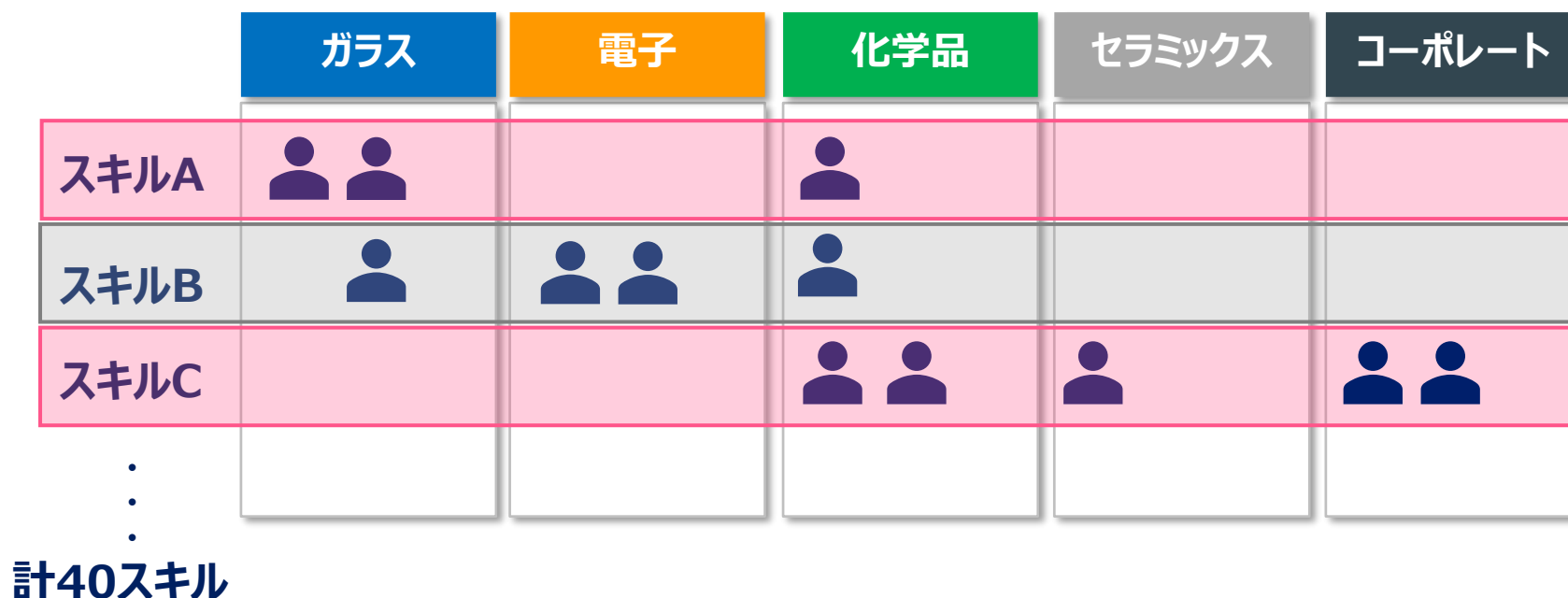


<CCL材料の欠点メカニズム解明>

エンゲージメント向上施策 “CNA*”

- スキルマップの枠組みを発展させ、専門性・スキル軸で、組織横断的なコミュニティを形成
- 社員が自主的に勉強会や見学会など、様々な活動を通じて交流
- 組織のサイロ化を解消し、風通しの良い組織風土を醸成

<概念図>



エンゲージメント向上施策 “経営層の対話”

- 経営層と従業員の対話会を、2015年からグローバルに実施
- 自主的な行動を起こさせることが目的
- コロナ禍もオンラインで継続



CEOによる対話会（各拠点で平均3回実施）

2018年実績：135回

国内：14拠点

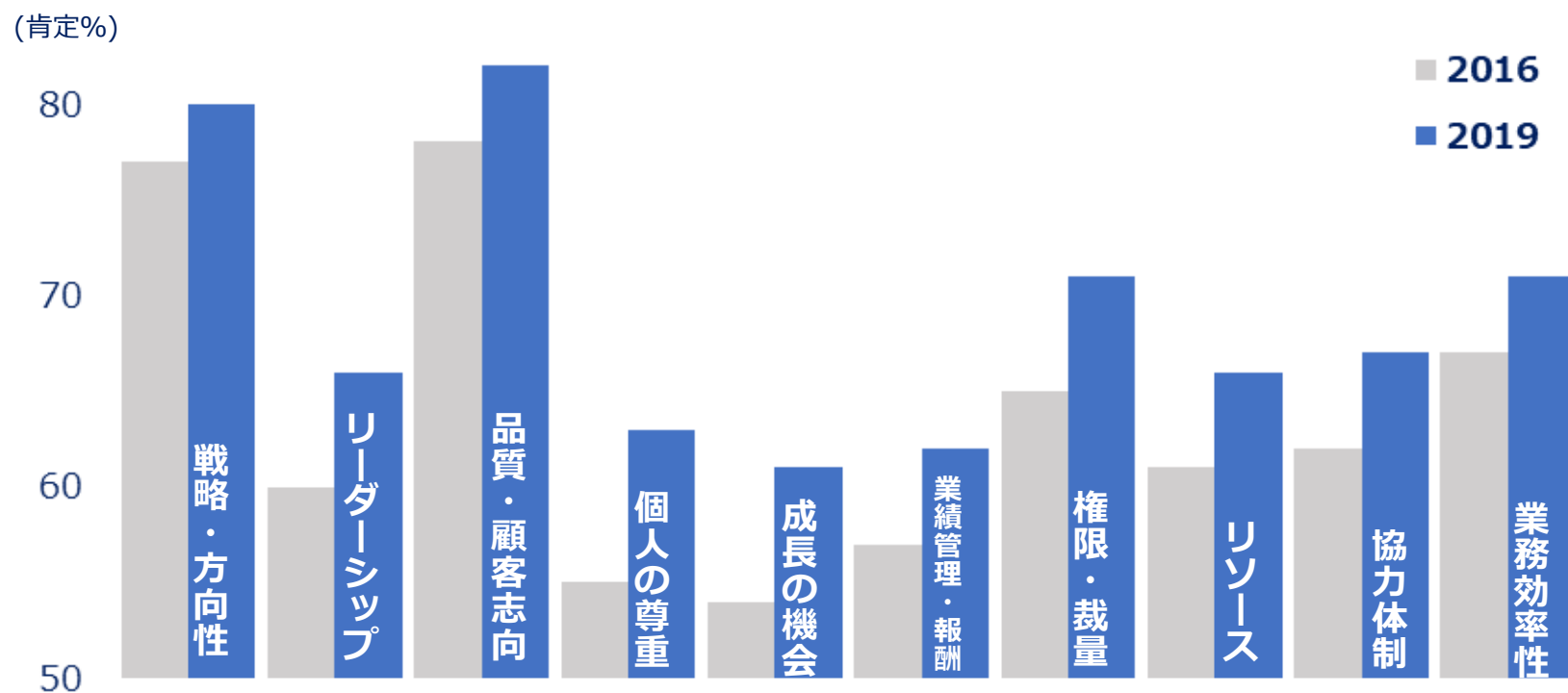
海外：31拠点（12の国・地域）

2019年実績：120回

国内：14拠点

海外：26拠点（11の国・地域）

■ 2019年調査は全てのカテゴリーが前回調査結果を上回る



エンゲージメント 調査概要

- 2005年から計6回実施
- 22言語、43の国・地域で実施(2019年)
- グループ全従業員対象 (2019年回答者数 42,000人、回答率 88%)

■「対話」を通して問題解決を共に実行、より良い組織風土醸成へ

向上活動のプロセス

1

調査結果の分析

2

調査結果の共有

3

調査結果に基づく問題意識の共有

4

改善課題の抽出

5

改善施策の策定

6

改善施策の実施

改善施策の事例



AGCケミカルズ・アメリカ



艾杰旭特种玻璃（大連）有限公司（AFD）

■ アメリカの事例

課題 : 従業員がキャリアパスを描きにくい

改善策 : キャリアプランニング面談を実施
会社が従業員に対して何ができるのかを提示

■ 中国の事例

課題 : 部門を超えたコミュニケーション不足

改善策 : オフサイトミーティングを開催
部門を超えた会社の改善活動を実施

3. サステナビリティ経営と カーボン・ネットゼロに向けた取り組み

■ 素材イノベーションにより社会課題解決に貢献

“創業以来、お客様との信頼関係を礎として
長期視点による研究開発と事業化のチャレンジによって
時代の要請に応じて社会課題を解決”



これからも独自の素材・ソリューションの力で
私たちの使命（存在意義）“AGC、いつも世界の大事な一部”
を果たし続け、地球・社会のサステナビリティ実現に貢献

■ 社会課題の解決に向け、事業活動を通じた5つの社会的価値を創出

重要機会

- 社会インフラの整備
- 安全・快適なモビリティの実現
- 食糧問題への対処
- 情報化・IoT社会の構築
- 健康・長寿社会への対応

- 気候変動問題への対応
- 資源の有効利用

重要リスク

- 社会・環境に配慮したサプライチェーン
- 公正・平等な雇用と職場の安全確保
- 地域社会との関係・環境配慮

あらゆる事業活動でサステナビリティ目標に取り組む

安全・快適な都市インフラの
実現への貢献

安心・健康な暮らしの
実現への貢献

持続可能な地球環境の
実現への貢献

健全・安心な社会の
維持への貢献

公正・安全な働く場の
創出への貢献

製品・技術、企業活動を通じて、社会的価値を創出

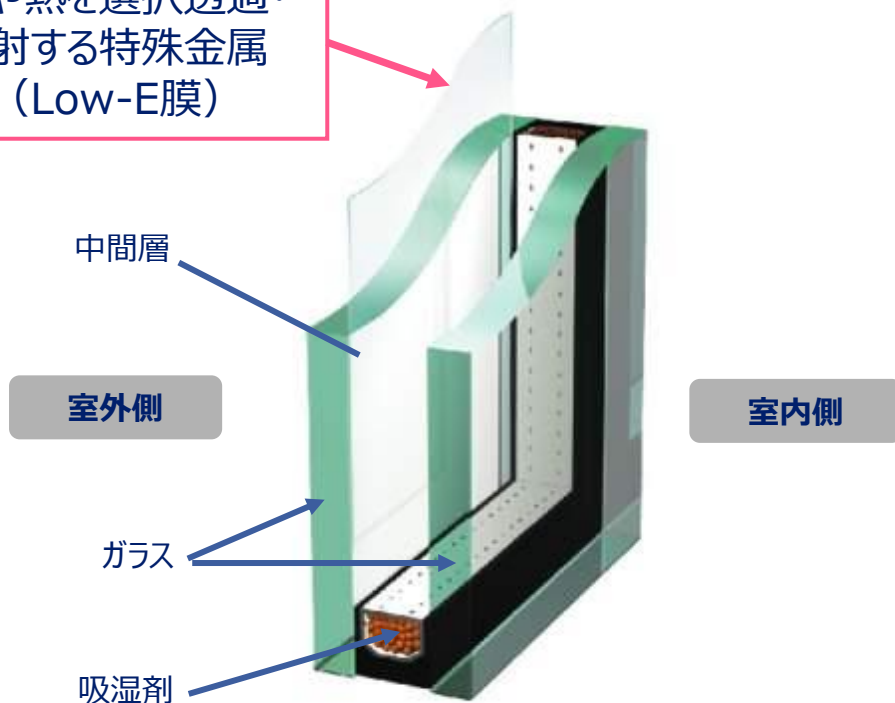
事業 社会的価値	ガラス	電子	化学品	セラミックス
持続可能な 地球環境の実現 への貢献	・フロート板ガラス (リサイクル原料使用製品、 薄板化) ・Low-E複層ガラス ・コーティングガラス ・建材一体型太陽電池 モジュール ・薄板ガラス(化学強化ガラス) ・自動車用ガラス など	・ディスプレイ用ガラス (リサイクル原料使用製品) ・太陽電池用TCO基板 ・太陽電池カバーガラス ・光学関連部材 ・高速通信用部材 ・高出力LED用ガラス セラミックス基板 など	・低環境負荷型冷媒・溶剤 ・燃料電池用部材 ・フッ素樹脂 ・塗料用フッ素樹脂 ・太陽電池保護用フッ素樹脂 フィルム - など	・耐火物 (リサイクル原料使用製品) ・超断熱セラミックス炉壁 ・バイオマス発電ボイラー 用 耐火物・エンジニアリング - など
安全・快適な 都市インフラの 実現への貢献	・Low-E複層ガラス ・防災・安全合わせガラス ・建物窓取付アンテナ ・自動車用ガラス ・車載用カバーガラス ・遮音合わせガラス ・調光ガラス ・自動車用ガラスアンテナ ・HUD部材 など	・ディスプレイ用ガラス ・車載センシング・レーダー 用部材 ・半導体製製造用部材 ・高速通信用部材 ・AR/MRガラス向けガラス基板 - など	・塩ビ ・苛性ソーダ ・次亜塩素酸ソーダ ・重曹 - など	・工業炉向け耐火物・ エンジニアリング ・ごみ焼却炉用耐火物・ エンジニアリング - など
安心・健康な 暮らしの実現 への貢献	・Low-E複層ガラス ・自動車用UVカットガラス - など	・医療用モニター ディスプレイ用ガラス ・高速通信用部材 ・理化学実験用ガラス器具 ・組織培養製品 - など	・医薬品原体・中間体 ・農薬原体・中間体 ・施設園芸用フッ素樹脂フィルム ・水処理用高機能膜 ・重曹(人工透析用輸液) - など	

エコガラス：Low-E複層ガラス

- 光や熱を選択透過し、建築物のエネルギー効率改善に貢献
- 1枚ガラスと比較して約78%、熱の移動を抑制*

エコガラスの構造

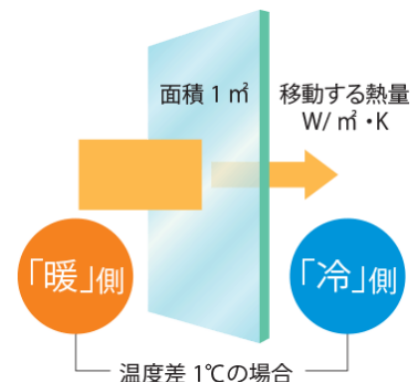
光や熱を選択透過・
反射する特殊金属
膜（Low-E膜）



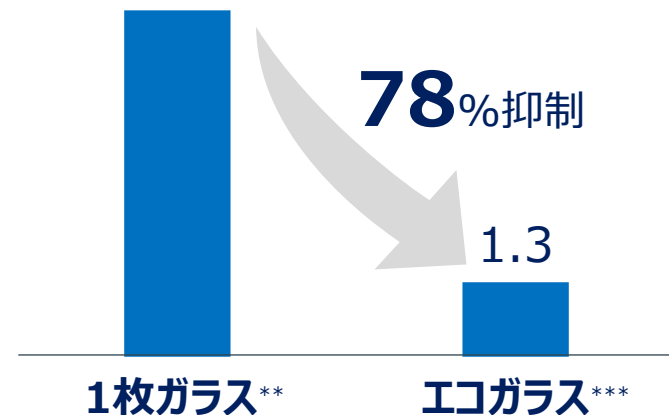
エコガラスの効果例

熱貫流率

内外温度差1℃で1時間・
1㎡あたりに通過する熱量



熱貫流率 6.0



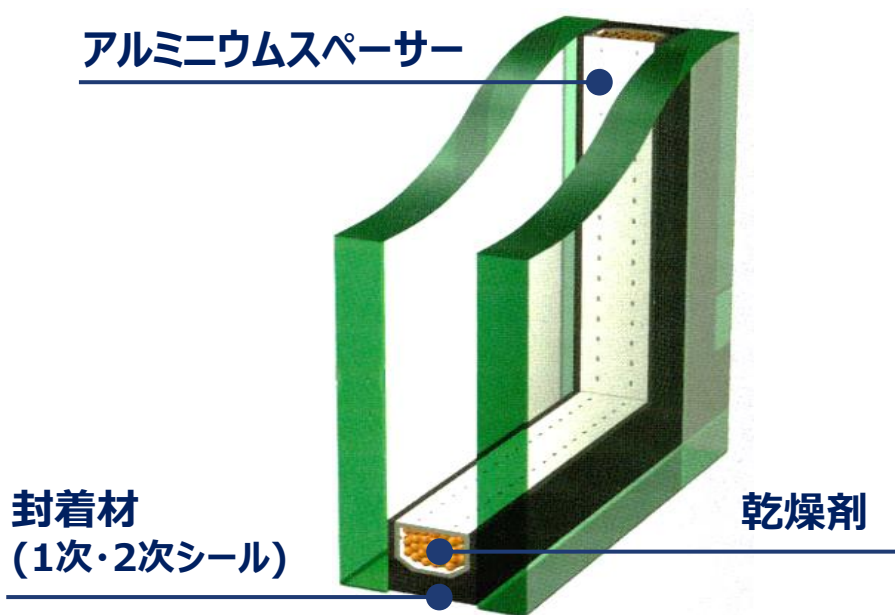
*3ミリのフロートガラスとガス入りLow-E複層ガラスでの熱貫流率での比較

**3ミリのフロートガラス

***ガス入りLow-E複層ガラス

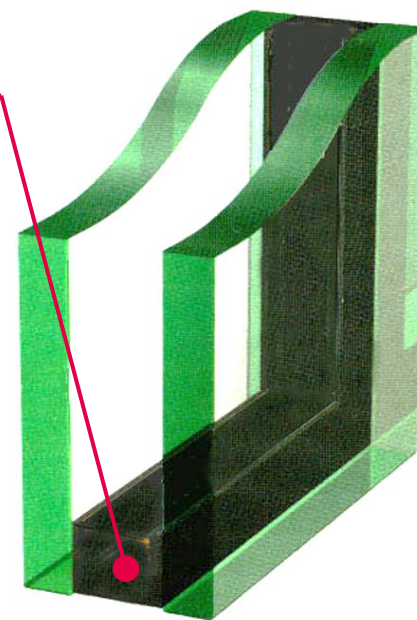
- A G C 独自開発の材料を使用した高耐久・高寿命・高断熱の複層ガラス
- 化学品の技術で、アルミ・乾燥剤・シール材を一体化し、リサイクルも容易に
- 窓の性能はそのままに高寿命化を実現、ライフサイクルでのCO₂排出量削減に貢献

従来の複層ガラスの構造



サーモクライン®の構造

A G C 独自開発の
封着材 (ブチル) のみ



- ガラスの間に発電セルを封入した太陽光発電が可能なガラス
- 窓で創エネ可能なため、太陽光パネル設置場所の制約解消に貢献
- 創エネ性能と意匠性を両立し、カーボンニュートラルな社会の実現に貢献



産総研ゼロエミッション国際共同研究センター
エントランスキャンピー



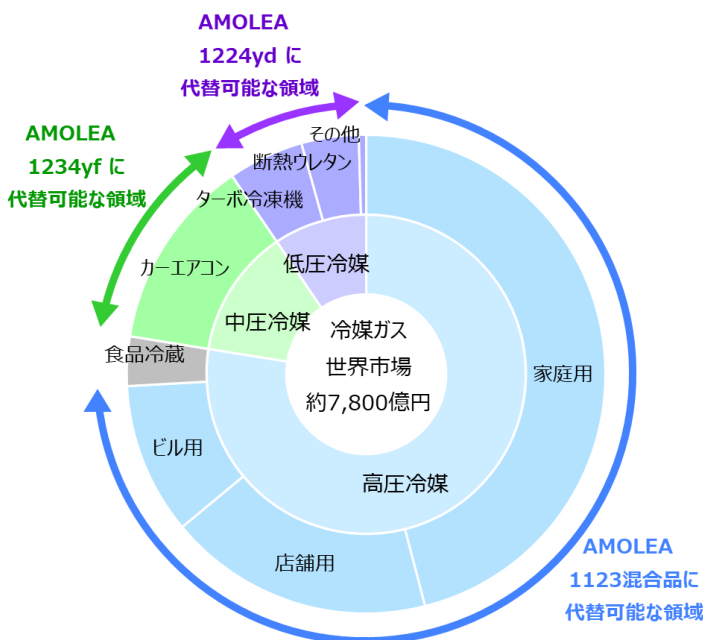
シンガポール工科大学プンゴル新キャンパス

環境対応型次世代冷媒・溶剤：AMOLEA®シリーズ

■ 地球温暖化係数（GWP*）が小さい環境対応型次世代新冷媒・溶剤を販売

■ 地球温暖化防止に貢献

ターゲット市場**



カーエアコン用冷媒

GWP

1,430



1以下

R134a***

AMOLEA® 1234yf

ターボ式冷凍機用冷媒

GWP

1,030



1以下

R245fa***

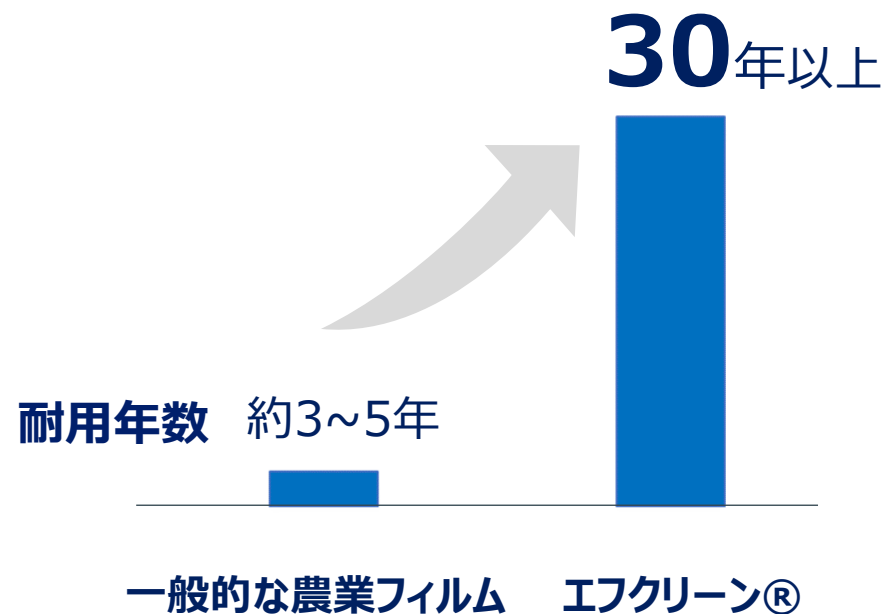
AMOLEA® 1224yd

施設園芸用フッ素樹脂フィルム：「エフクリーン®」

- 長寿命であるため、廃プラスチック排出抑制に貢献
- 高い光線透過率で農産物の生産性向上、品質UPに貢献



グリーンハウスでの採用事例



- 極めて高い高耐候性と防食性により、塗り替え回数を大幅に減らせ、ライフサイクルでのCO₂排出量削減に貢献
- 上市以来40年、建造物や橋梁・鉄塔に至るまで様々な施工実績有



パールリバータワー
(中国)



明石海峡大橋



フェラーリ ワールド・アブダビ
(アラブ首長国連邦)

カーボン・ネットゼロ目標（2050年）

- 2014年に設定した2020年のCO₂削減貢献目標は概ね達成
- 製品、技術を通じたGHG削減に引き続き注力
- 2050年にカーボン・ネットゼロを目指す

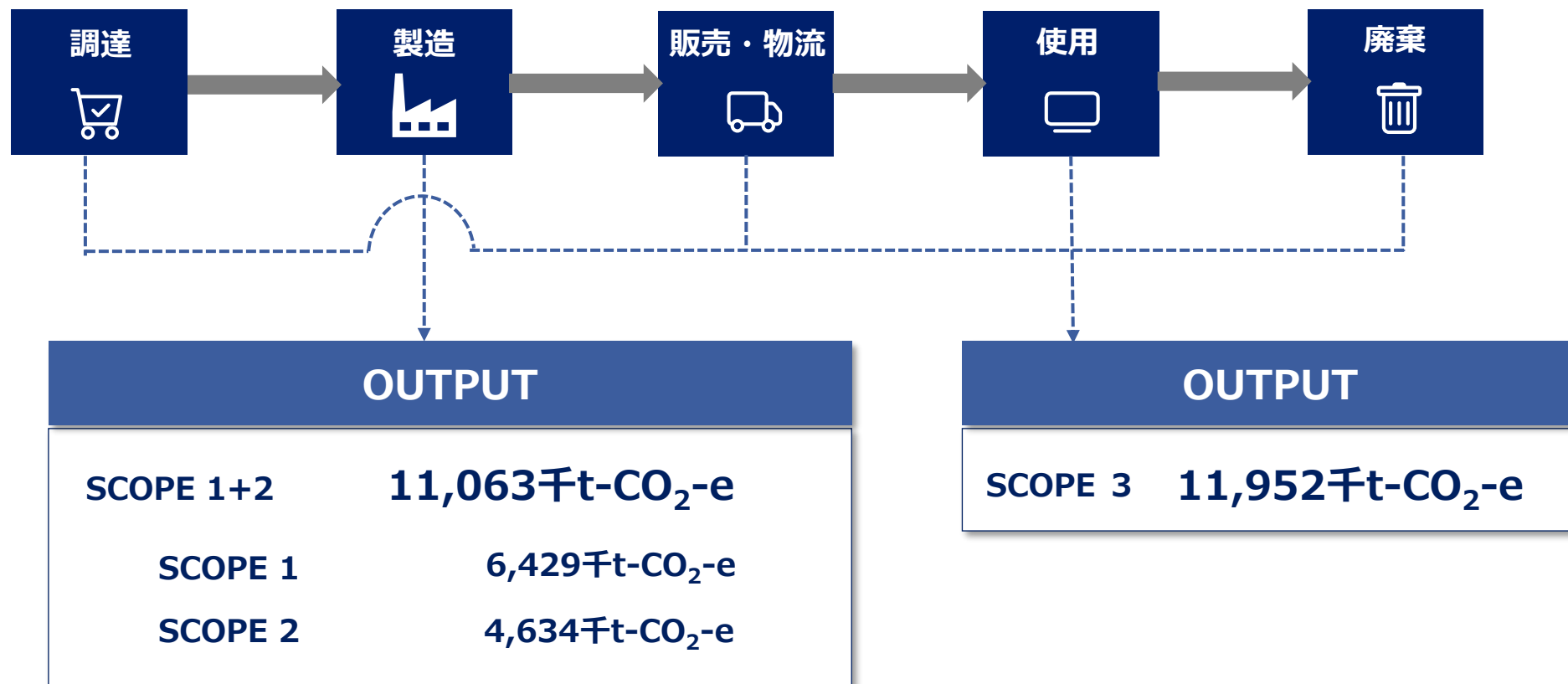


2030年 マイルストーン（2019年比）

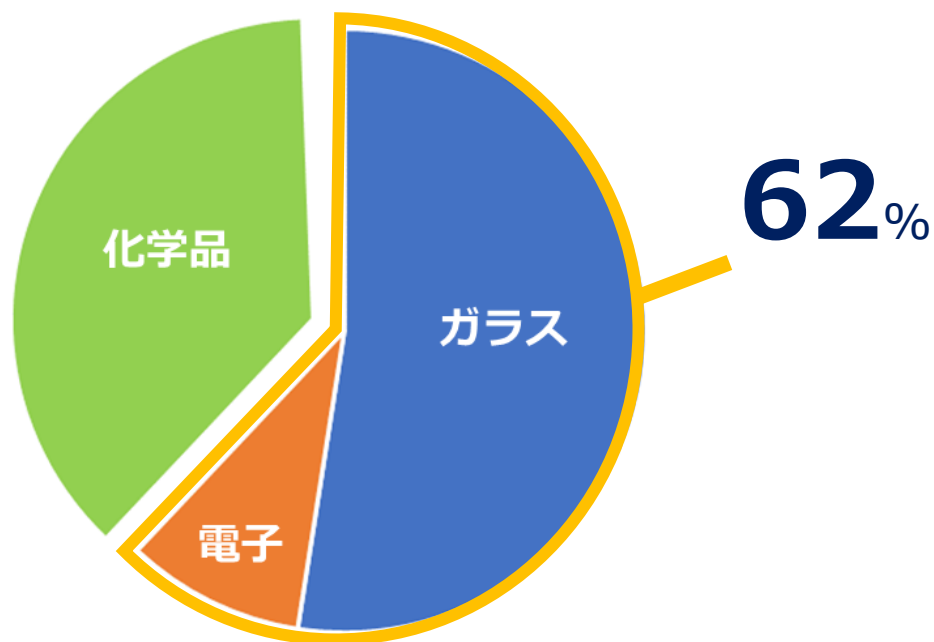
- GHG排出量 **30%削減**
(Scope 1+2排出量)
- GHG排出量売上高原単位 **50%削減**
(Scope 1+2排出量／売上高)

GHG排出量とScope毎の内訳（2020年）

■ 2020年まではScope1,2の削減をメインに取り組みを実施



- Scope1の過半を占める排出源は、ガラス・電子セグメントのフロートガラス溶解窯
- 化学品セグメントの主な排出源は、自家発電設備



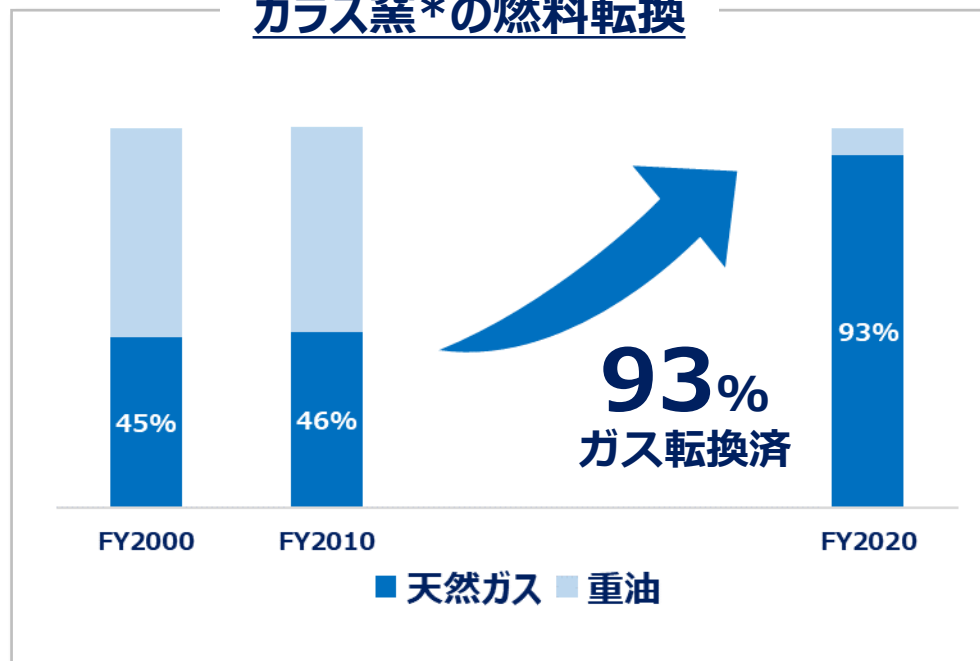
Scope1	
Scope1 合計	6,429千t-CO ₂ -e
● ガラス	3,374千t-CO ₂ -e
● 電子	614千t-CO ₂ -e
● 化学品	2,404千t-CO ₂ -e

GHG排出量削減の主な取組み（Scope1）

ガラス溶解プロセス革新

- 重油よりも燃焼時CO₂排出量が約20%削減できる天然ガスへ燃料転換を推進
- 世界トップレベルの省エネガラス製造技術を開発

ガラス窯*の燃料転換



省エネガラス製造技術



ガラス溶解技術

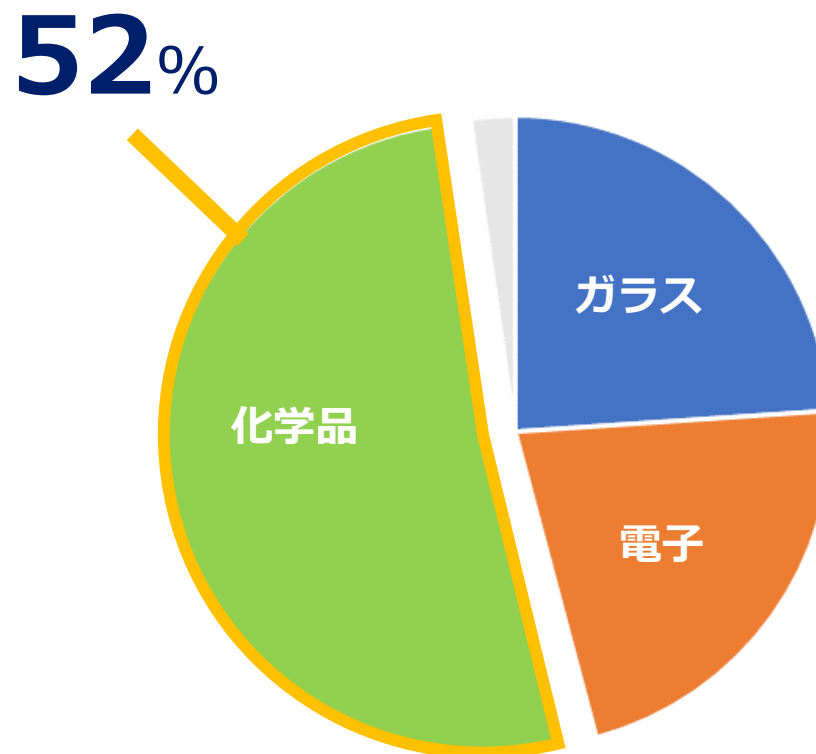
- 酸素燃焼方式の導入
- 溶解用電気ブースターの導入
- 溶解熱源の電化を加速



セラミックス断熱技術

■ Scope2の主な排出源は、化学品セグメントのクロールアルカリ電解設備

Scope2	
Scope2 合計	4,634千t-CO ₂ -e
● ガラス	1,103千t-CO ₂ -e
● 電子	1,029千t-CO ₂ -e
● 化学品	2,409千t-CO ₂ -e



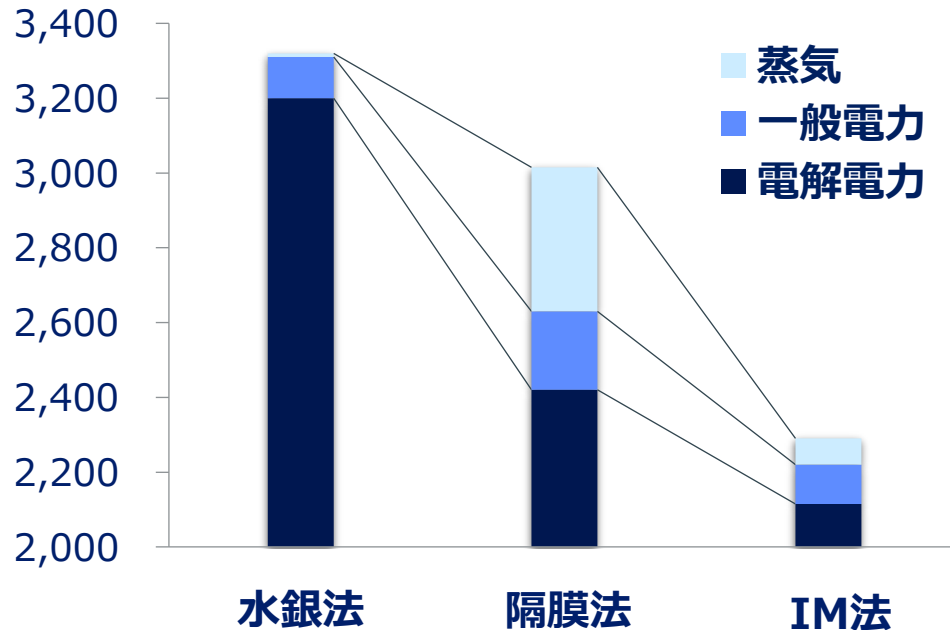
GHG排出量削減の主な取組み (Scope2)

クロール・アルカリ電解設備

- 環境負荷が著しく低い「イオン交換膜法(IM法)」を1975年に開発（世界初）
- IM法への製造方法転換により、電力原単位を大幅に削減
- イオン交換膜「フレミオン®」の外販を行い、業界としての環境負荷低減にも貢献

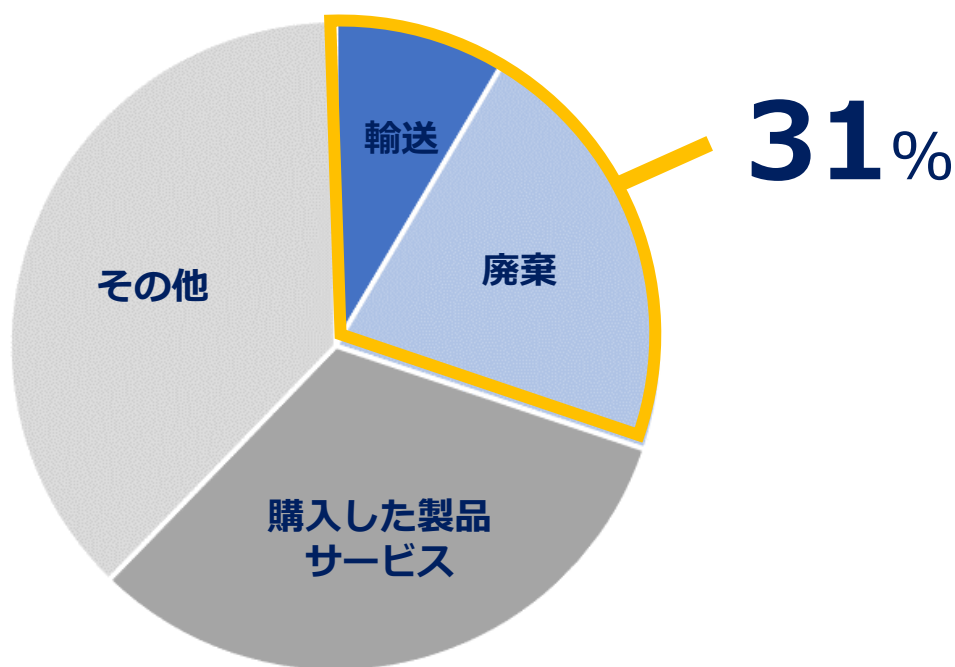
(AC kWh
/t-NaOH)

電解設備電力原単位*



	製造苛性ソーダ濃度 [wt%]	環境・健康影響
水銀法	50	水銀排水汚染懸念
隔膜法	12	じん肺・中皮腫 懸念**
IM法	32	無公害・安全

■ 購入した製品・サービスに次いで、廃棄・輸送に関わる排出量が多い



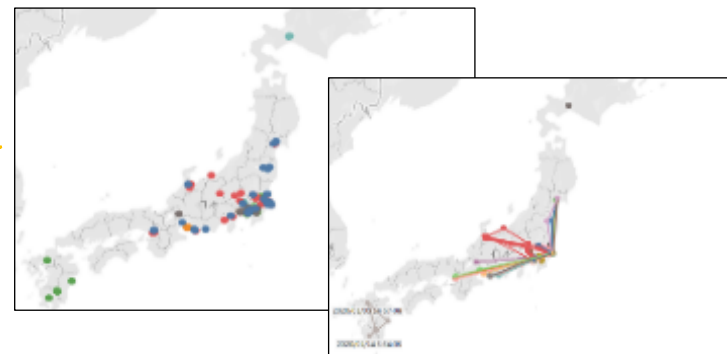
Scope3	
Scope3 合計	11,952千t-CO ₂ -e
● 輸送	1,102千t-CO ₂ -e
● 廃棄	2,581千t-CO ₂ -e
● 購入した製品・サービス	3,921千t-CO ₂ -e
● その他	4,348千t-CO ₂ -e

ガラス輸送パレットのIoT化

- ガラス輸送パレットをIoT化
- パレット位置情報を反映した輸送計画で、輸送効率を向上
- 製品輸送時のCO₂を約5%削減



大型パレット1,400台に
物流トラックを取り付け

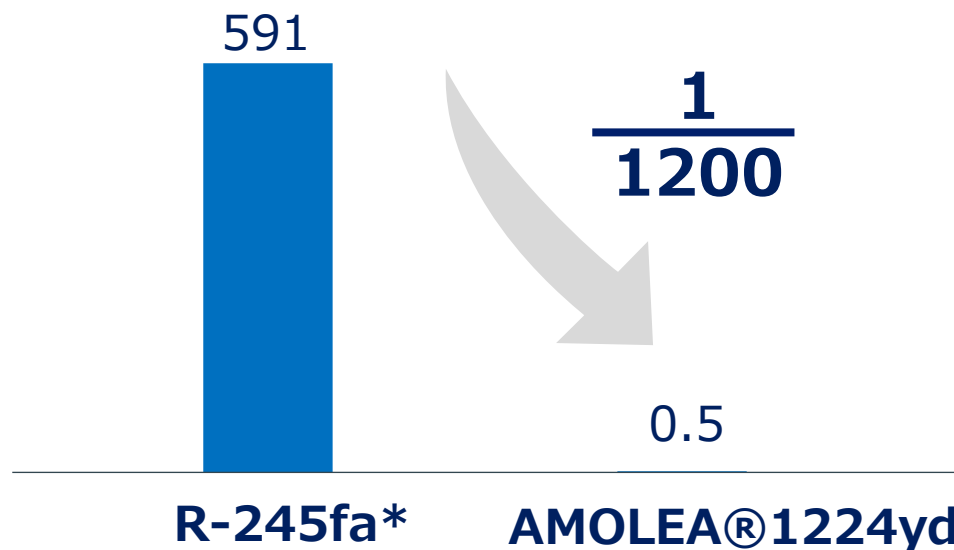


位置情報、移動履歴、滞留情報を可視化

環境対応型次世代冷媒AMOLEA®シリーズ

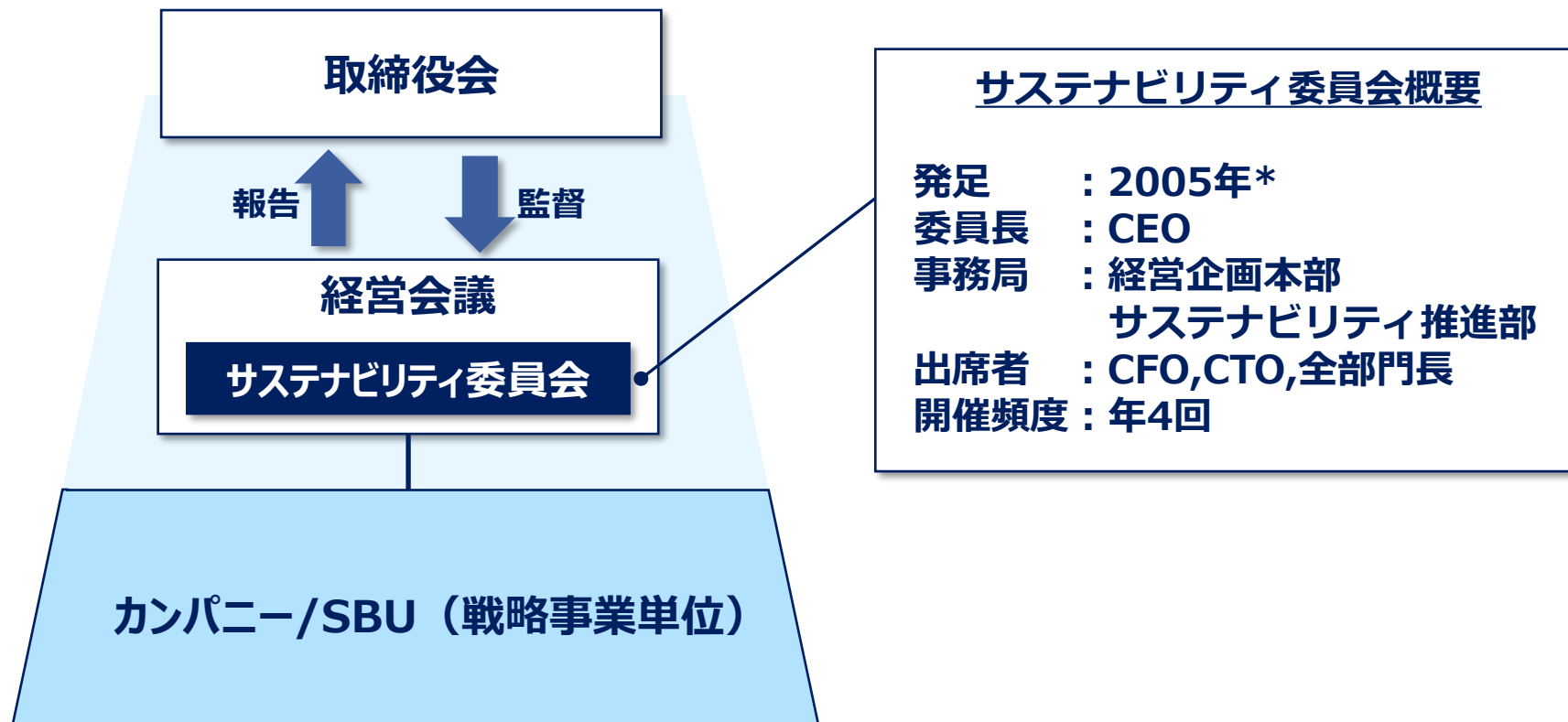
- 環境規制により、地球温暖化係数の低い冷媒が普及
- AMOLEA®は、製品廃棄時のCO₂排出量が著しく低い
- AMOLEA®への置き換えにより、廃棄時のCO₂排出量大幅削減に貢献

廃棄時のGHG排出量(t-CO₂/ton)



4. 最後に

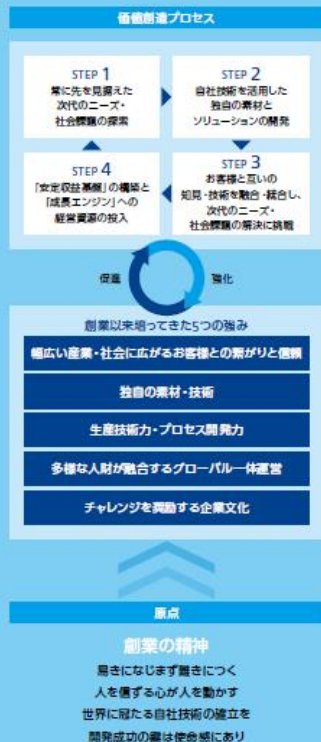
- 全社戦略を策定する経営企画本部内にサステナビリティ推進部を設置
- サステナビリティ委員会は社長執行役員の諮問機関として、非財務目標の意思決定や進捗管理を担う



**独自の素材・ソリューションの提供を通じて
サステナブルな社会の実現に貢献するとともに
継続的に成長・進化する
エクセレントカンパニーでありたい**

5. Appendix

AGCの価値創造モデル



■ 継続的にコーポレートガバナンス体制を進化させ続けてきた

2002年

- 経営監視機能と経営執行機能を明確に分離

2016年

- コーポレートガバナンス基本方針を策定

取締役会

2002年

- 取締役を20名から7名に
- 社外取締役を招聘（当初2名）

2011年

- 取締役会議長を社外取締役に

2019年

- 取締役会の実効性評価に外部機関を活用

2005年

- 社外取締役を2名から3名に

2015年

- 取締役会の実効性評価を開始

指名委員会 報酬委員会

2003年

- 任意の指名委員会・報酬委員会を設置

2017年

- 指名委員会・報酬委員会の議長を社外取締役に

執行役員

2002年

- 執行役員制度を導入

報酬制度

2007年

- 株式報酬型ストックオプションを導入

2018年

- 株式報酬型ストックオプションに代わる新たな株式報酬制度の導入

CGコード 変遷

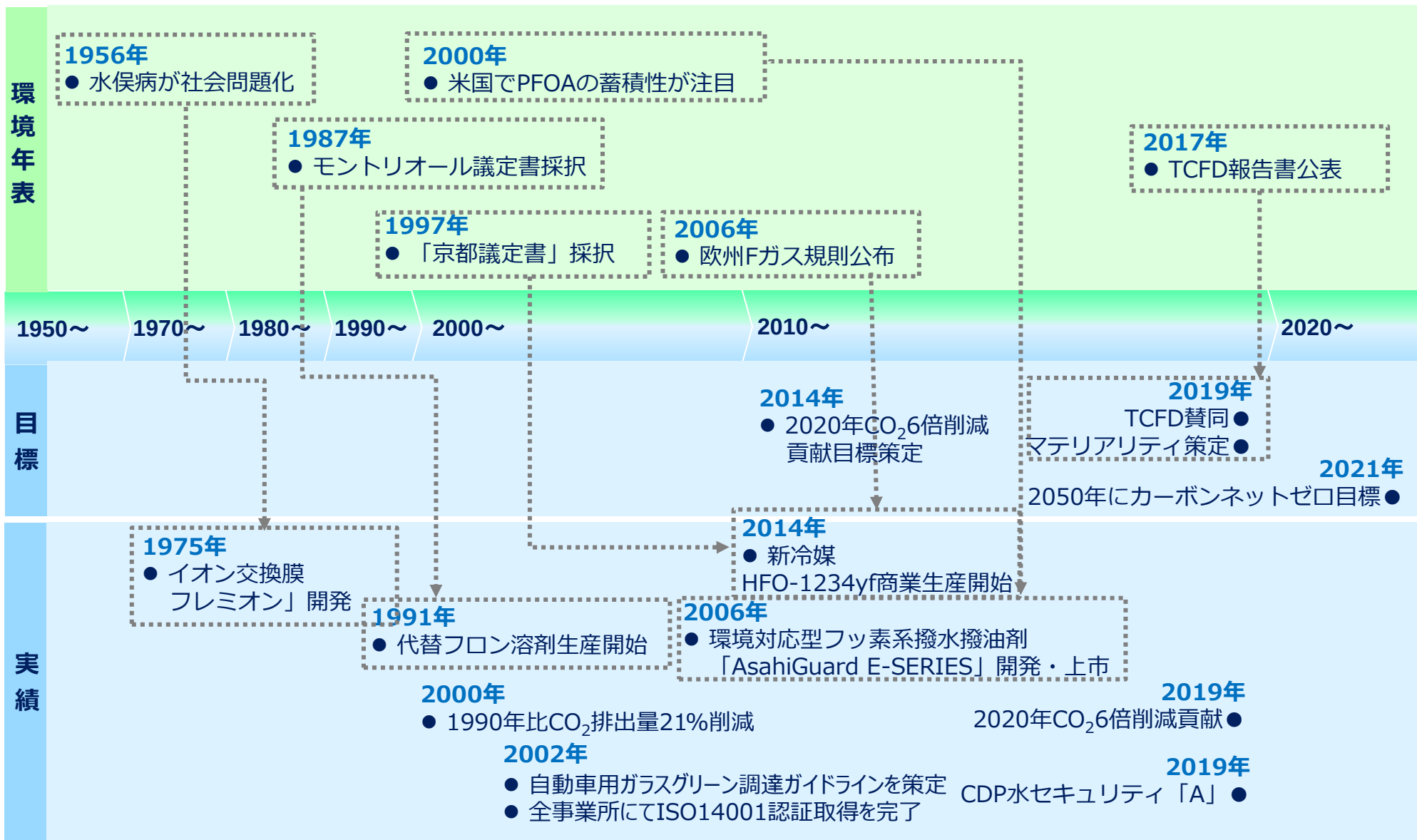
2015年

- 独立社外取締役を少なくとも2名専任（CGコードに基づく改訂上場規定）

2018年

- 取締役会の下に独立社外取締役を主要な構成員とする任意の指名委員会・報酬委員会など、独立した諮問委員会を設置（CGコードに基づく改訂上場規定）

環境対応のあゆみ



サステナビリティ “製品・技術”を通じて社会的価値を創出

重要機会

AGCグループの主な素材・ソリューション

社会的価値

関連するSDGs

気候変動問題への対応

建築用ガラス、グリーン冷媒、自動車用
赤外線カットガラス、バイオマス炉用炉
材等

資源の有効利用

燃料電池用部材、リサイクル原料使用
製品（ガラス・耐火物等）

社会インフラの整備

建築用ガラス、苛性ソーダ、次亜塩素酸
ソーダ、重曹、塩ビ等

安全・快適な モビリティの実現

自動車用ガラスアンテナ、車載センシ
ング・レーダー用部材、HUD部材等

情報化・IoT社会の構築

建物窓取付アンテナ、半導体製造用部材、
ディスプレイ用ガラス、高速通信用部材
等

食糧問題への対応

農薬原体・中間体、農業温室ハウス用
フィルム等

健康・長寿社会への対応

医薬品原体・中間体、高速通信用部材、
水処理用高機能膜等

持続可能な地球環境の実現
への貢献

安全・快適な都市インフラの
実現への貢献

安心・健康な暮らしの実現
への貢献



サステナビリティ “健全な企業活動”を通じて社会的価値を創出

重要リスク

気候変動問題への対応

資源の有効利用

社会・環境に配慮した
サプライチェーン

地域社会との関係・
環境配慮

公正・平等な雇用と
職場の安全確保

AGCグループの企業活動

継続的な省エネ対策実施、GHG排出量を低減する生産技術・設備開発 等

再生原材料や再生資材の活用、埋立て処分の削減 等

人権尊重・環境保護を重視したサプライヤー管理 等

水使用量削減、生物多様性保全、環境事故撲滅、地域のファン作り 等

従業員エンゲージメントの向上、重篤災害・休業災害の発生防止 等

社会的価値

持続可能な地球環境の実現
への貢献

健全・安心な社会の維持
への貢献

公正・安全な働く場の創出
への貢献

関連するSDGs



FTSE4Good Index Seriesに選定	 FTSE4Good
FTSE Blossom Japan Indexに選定	 FTSE Blossom Japan
女性活躍推進に優れた企業を選定する 「なでしこ銘柄」に昨年に引き続き選定	
企業としてのデジタル化を評価され、 「DX銘柄2020」に選定	 DX銘柄2020 Digital Transformation
「健康経営優良法人2021ホワイト500」 に選定	 2021 健康経営優良法人 Health Management Excellent Corporation ホワイト500
EcoVadisサプライヤー評価で最高ランクを取得 鹿島工場：「PLATINUM」 千葉工場、AGCファーマケミカルズ：「GOLD」	
Derwent Top 100 グローバル・イノベーター 2021 に選定	



Your Dreams, Our Challenge

END

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

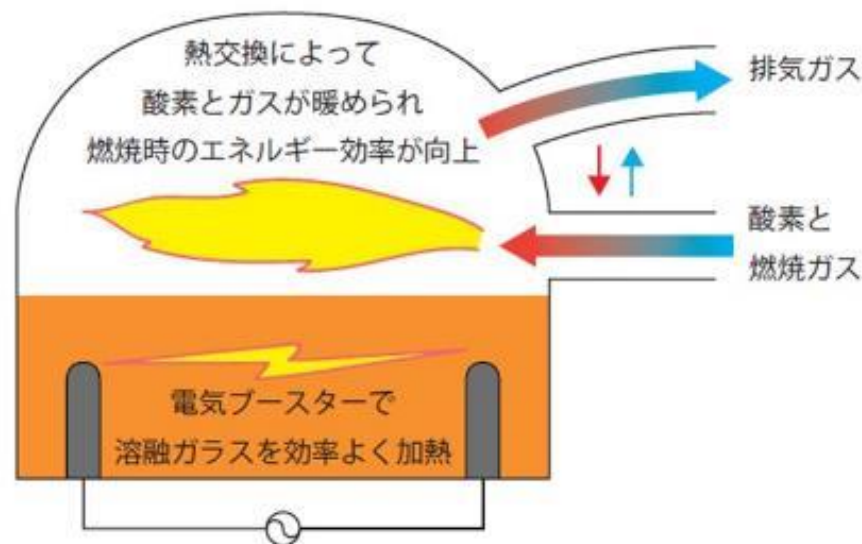
ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

質疑対応用スライド

ガラス溶解プロセス革新



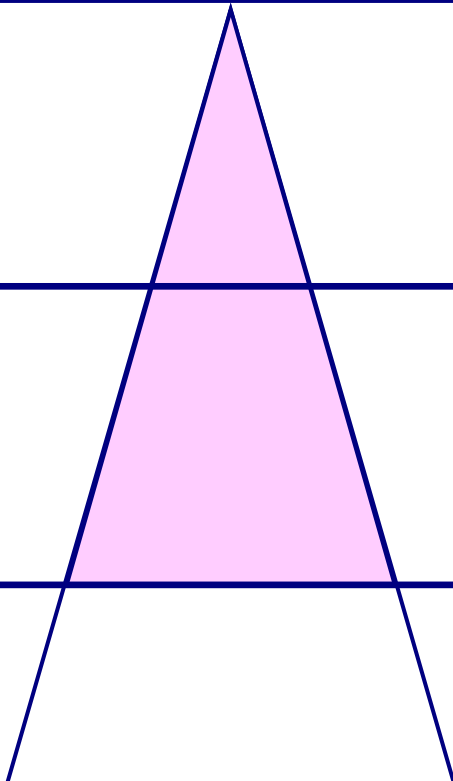
- エネルギー効率の高い酸素燃焼方式の導入
- 燃料使用量を低減する溶解用電気ブースターの導入
- 溶解熱源の電化を加速

ガラス製造時の
CO₂を削減

グローバルジョブグレード制度(AGCグループ)

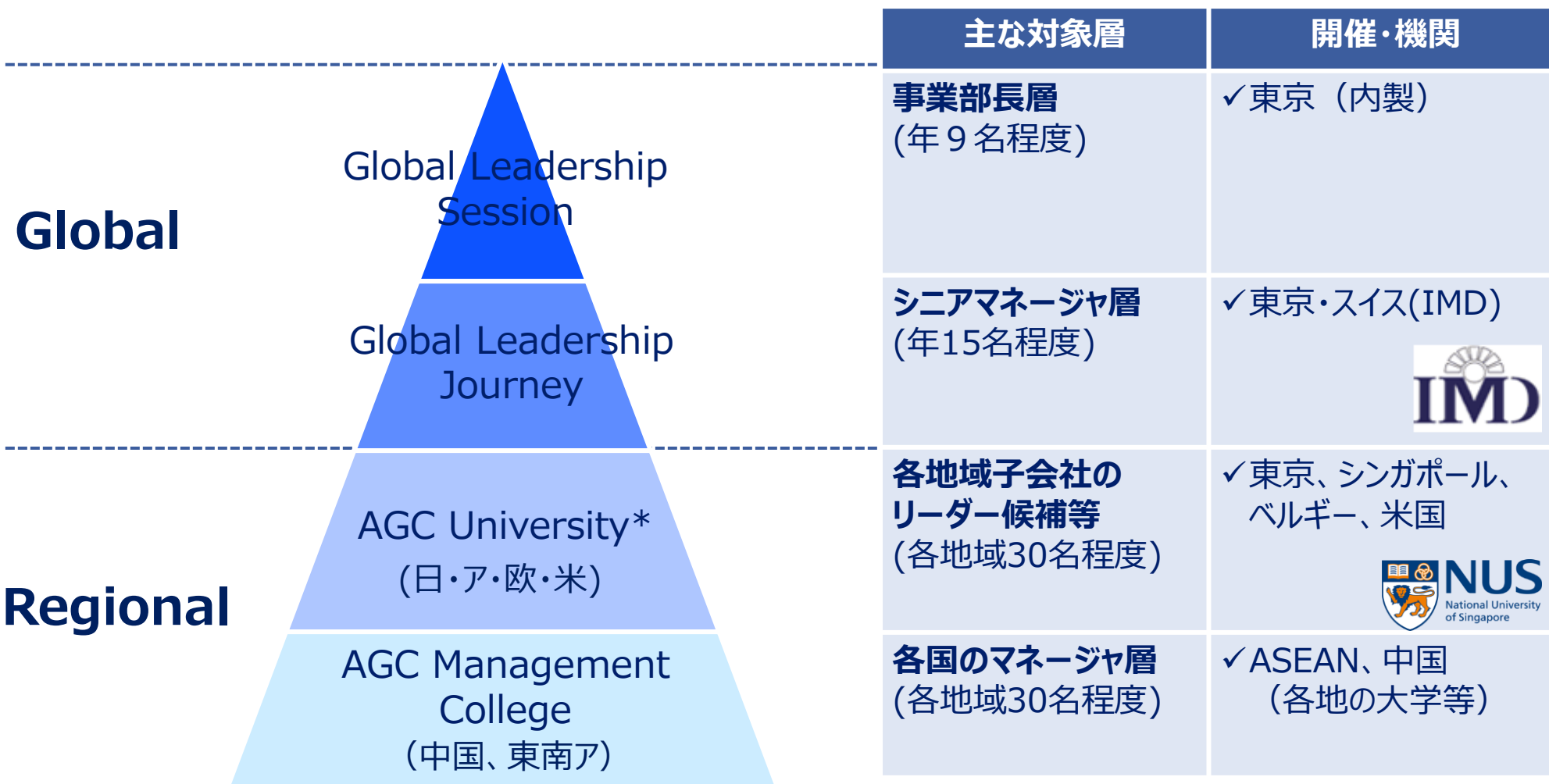
- グローバル一体で人財をマネジメントするため、職務の役割・責任に基づく「グローバルジョブグレード制度」を2006年に導入

(*)GJGコミティ：グループ経営トップによる
グローバルジョブグレード決定のための会議体

グローバルジョブグレード (Hay Grade)	AGC単体グレード	(組織)	階層	定義
JG24以上	L		Group Executive Positions	- グローバルAGCグループのエグゼクティブポジション - GJGコミティ(*)で決定
JG23	K			
JG22				
JG21	B		Group Managerial Positions	- 各部門における管理職ポジション - 各部門長がグレードを決定
JG20	Y			
JG19				
JG18				
JG17	D以下		Local Positions	各部門、各社で個別に管理するポジション
JG16以下				

グローバル経営人財育成プログラム

- 各地域のリーダー人材育成のため2004年よりプログラムを始動
- 各地域で発掘・育成された次世代経営幹部候補をグローバルプログラムへ



エンゲージメント調査結果

- 「社員の取り組み意欲」、「社員を活かす環境」の両方のレベルが高い「活躍社員」の割合は、製造業やグローバル優良企業の平均を大きく上回る

